

# 鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。  
初代庵主大定三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているのであるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

## 今月の俳句

ジエノサイド 知らず駆けゆく  
冬野かな

愛媛県立今治西高等学校伯方分校  
守田 慎乃助

季語は「冬野」。荒涼と広がる冬の野原が目につかぶ。「ジエノサイド」とは「国民的、民族的、人種的」または宗教的な集団の全体または一部を破壊する意図をもった行動のこと。我々の脳裏につかぶのは第二次大戦下、ナチスドイツによって行われたユダヤ人虐殺、「ホロコースト」である。一句は、所謂心象風景としての「冬野」の持つ「絶望的な淋しさ」とそれを繰り返す「無知」を、忌まわしく思う作者の心を訴えている。

(鳴立庵庵主 本井 英)

## 今月の短歌

基地の街の空に雲引き 六列の  
飛行機の飛ぶ午後から雨だ

山口大学教育学部附属光中学校  
横道 玄

作者の所在地から、「基地」は岩国航空基地を指すのだと思われます。現在、この基地は海上自衛隊とアメリカ海兵隊が共同使用しているそうです。交際問題、政治問題、軍事問題などさまざまな話題は、他の基地問題につながりますが、ここでは身近な日常生活の中からの視線が感じられます。複雑に絡んだ基地問題に直接触れてはいませんが、だからこそ膨らみをもって、読者を考えさせます。「八列」という具体的な数字が、隊列を組んで飛ぶ機体を鮮明にイメージさせ、四句から結句への転換も見事です。

(西行祭選者 今井 恵子)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

講師 対象 定員 費用 持ち物 申込み

講座名	日程	時間	備考
寄席	3月14日(土)	開場 13時 開演 13時30分	演目 妻の旅行、蜘蛛駕籠、江戸小唄、意地くらべ 演者 三笑亭空巢、入船亭浜路、松風英美都、桂三十助* 定30人 費800円(入庵料込)
座禅	3月21日(土)	13時30分~14時30分	姿勢・呼吸・心を整えます 講慶林寺住職 豊田 素道 氏 定10人 費500円(入庵料込)
伝筆	3月22日(日)	10時30分~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講認定講師 わでん伝筆マスター 宮前 礼子 氏 対中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
花の会	3月25日(水)	14時~16時	アーチを使ったナチュラルで優しいアレンジ 講府川 葉月 氏 定15人 費2,500円(入庵料込) 持はさみ、タオル、持ち帰り袋

## 第69回 大磯西行祭

日時 令和8年3月29日(日) 10時30分~式典

内容 献茶・入選句・入選歌献詠、献奏、入選者表彰

※午後には、当日参加可能な俳句大会、短歌大会の開催を予定。詳細は鳴立庵ホームページでご確認ください。



3月30日(月)及び31日(火)の両日とも、終日休庵とさせていただきます。